

平成15年8月

各位

経営トップ向けセミナー

株式会社日本総合研究所
研究事業本部

医療機関における経営管理（人事・会計）刷新セミナー

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社では、かねてより、医療機関に対して人事管理改革、情報システム構想支援、経営診断等の様々なコンサルティングサービスを提供してまいりました。今回、貴院の経営管理（人事管理・会計管理）の刷新に寄与したいと思い、「経営管理の刷新」をテーマに、医療機関経営者向けにセミナーを企画致しました。

さて、日本経済がデフレ経済下の厳しい状況が続く中、医療に関する改革が叫ばれ、様々な改革が政策的に決定され実行されています。医療経営は非常に厳しい環境に直面しつつあり、従来の規制に守られた経営にあった経営管理から脱し、効率性に配慮した経営管理へ変革することが必要になっています。効率性を向上させるために人事管理に関しましては目標管理、コンピテンシー、業績連動型人事管理等世の中の制度変革にあわせて医療機関においても改革することが求められています。会計管理については、透明性がある信頼される会計情報をタイムリーに患者・疾病別会計情報をベースに在院日数等の他の指標とともに提供することが求められています。

本セミナーでは、日本における医療経営の今までの問題点を踏まえ、人の管理としての人事管理、金の管理としての会計管理、その2つの管理を支える情報システムの3つの要素について取り上げ、情報システムについてはERPの活用についても視野にいれて皆様方にご提案させていただきます。

なお、本セミナーは医療機関の経営者向けに企画致しました。経営トップ及び経営幹部自らのご参加をお待ち致しております。

敬具

セミナー実施要領

1. 日 時 平成15年9月17日（水） 13:30～17:30
2. 会 場 東京都千代田区一番町16番
株式会社 日本総合研究所 1階セミナールーム
TEL. 03-3288-4301
3. 主 催 株式会社日本総合研究所 研究事業本部
共催：SAPジャパン株式会社
4. 講 師 裏面参照
5. 対象者 医療機関の理事長、理事、病院長、事務長、企画部門長、人事部門長、経理部門長、情報システム部門長、他幹部の方々
6. 受講料 10,000円（資料代）
7. 定 員 50名



日本総研
The Japan Research Institute, Limited

セミナー実施内容

[セミナー講師]

1. 兼為 勇次郎 弊社上席主任研究員 ・ 全体総括
医療経営管理研究会（弊社主催）を推進中
2. 江並 正民 弊社上席主任研究員 ・ 人事管理コンサルタント
医療機関他多数の人事コンサルティングに従事
3. 水野谷 浩 弊社主任研究員・公認会計士 会計管理コンサルタント
医療機関向け経営品質診断、医療経営管理研究会（弊社主催）を推進中
4. 景山 裕文 弊社副主任研究員 ・ E R P コンサルタント
E R P を利用した会計、人事の経営コンサルティングに従事
5. S A P ジャパン株式会社

[セミナーの主な内容]

1. 日本の医療機関が直面している経営管理の問題（13：30－13：50）
 - ・ 経営環境変化による収益構造悪化
 - ・ 医療分野の情報化の進展
 - ・ 医療法人経営改革のフレームワーク
2. 人事管理の刷新の進め方（13：50－14：50）
 - ・ 能力・成果主義人事制度導入の重要性（年功主義的人事制度からの離脱）
 - ・ 適正な評価によるモチベーションの維持と向上（目標管理による組織活性）
 - ・ 適正人件比率達成のための総額人件費管理と個別賃金の設計（公務員準拠型賃金体系の改革）
 - ・ 人材育成につながる人事制度とする（特に病院経営スタッフの育成が急務）
3. 会計管理の刷新の進め方（15：00－16：00）
 - ・ 管理会計の重要性の増大（会計制度改正、会計の役割変化）
 - ・ 適切な事業特性評価と組織業績評価の視点
 - ・ 商品特性（疾患別収支計算）評価の視点
 - ・ 複合的な評価視点としてのBSC（バランズスコアカード）経営
 - ・ 間接業務改革のためのABM（アクティビティベースドマネジメント）
4. 経営管理（人事・会計管理）を支えるITの有効活用（16：10－16：40）
 - ・ 医療経営におけるITの果たすべき役割とは
 - ・ 経営管理強化のための経営情報一元化の必要性
 - ・ 医療における今後のIT戦略の方向性
5. SAP R/3 のご提供する会計・人事機能のご紹介と導入事例（16：40－17：30）
 - ・ SAPジャパンにおける病院業界への取り組み
 - ・ SAP R/3 会計機能と人事機能のご紹介
 - ・ 導入事例 長野厚生農業共同組合連合会様



なぜ、経営管理の刷新が必要なのか

医療機関経営に求められる刷新

デフレ経済下の厳しい経済環境の中で、医療機関の経営管理の刷新が求められています。刷新のポイントは(1)透明化、(2)迅速化、(3)オープン化にあります。

経営管理の刷新

医療機関もPLAN(計画)→DO(実行)→SEE(評価)というマネジメントサイクルを如何に迅速かつ効果的にまわしていくかが重要です。しかし、医療機関においては非営利性と予見不可能な性質から経営管理という仕組みが十分に確立されない状況にあります。今後、外来や一般病院への定額制の拡大が想定される中で、コストについてより詳細な特性が把握できるようなコスト管理体系を確立することと、業務改善(BPR)によりコストを削減することは、各医療機関においても近々の課題といえます。一方で、個々の職員が働く喜びを感じ、個性・主体性を発揮しながら良いチームワークが実践できる環境づくりも必要です。そのための新人事制度の策定もひとつの課題と言えます。

ITの有効活用

経営を支えるITの重要性は徐々に認識されており、我が国でも他業種においてはERPの導入が盛んに行われています。医療業界においても、大規模病院を中心に大規模な投資が行われてきましたが、今後さらに電子カルテシステムや医療機関内にとどまらない地域連携としてのシステムに大きな資源が割かれてゆくことになります。システム投資はともすると導入自体が目的化してしまいがちですが、ERPが本来もっている思想、すなわちマネジメントサイクルを有効に機能させるという観点から見て有効な活用がなされる必要があります。

標準的なプロジェクト推進プロセス

- 成功のポイントはまず基本構想を策定し経営者に意思決定をしていただくことです。
ー経営課題、業務課題、システム課題どのように融合して解決するのか。
- 実行に当たっては経営改革・業務改革とシステム構築を併行して進めます。
- システム構築はパッケージ・ERPなどの標準システムを活用してユーザ主導で進めます。

